

PRESS RELEASE

2013年4月26日
株式会社AOKI
AOKIカンパニー

“肌着内気候”を快適にコントロールする新感覚の肌着 AOKIと信州大学繊維学部との産学協同開発商品 「ドライコントロール肌着」新発売

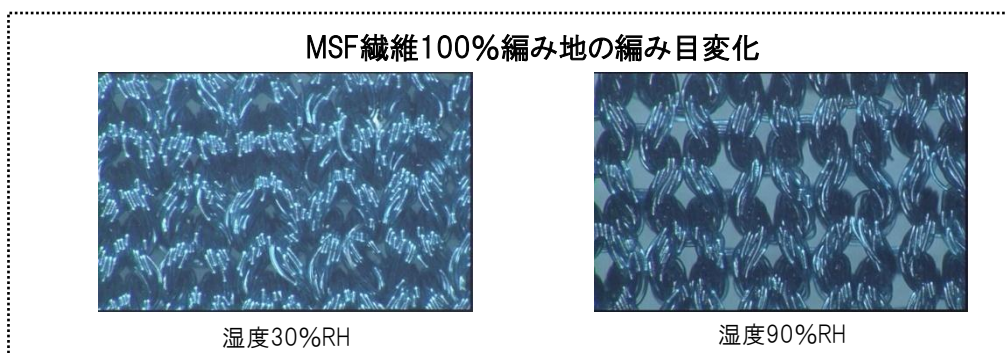
株式会社AOKI(代表取締役社長:清水彰)／AOKIカンパニーは、湿気、水分を吸湿・吸収し、通気量をコントロールする特殊繊維を採用した男性用肌着「ドライコントロール肌着」を、2013年4月27日(土)より、全店で発売します。当商品は、信州大学繊維学部との産学協同研究により開発された商品。通気量をコントロールすることにより、真夏だけでなく、春や秋の気温の変化に対応した画期的な肌着です。

汗に反応して編み目が開く！通気量をコントロールできる画期的な繊維を採用

このたび発売する「ドライコントロール肌着」は、湿気(気体)や水分(液体)を吸湿・吸収する特殊繊維「MSF(=Moisture Sensibility Fiber…湿気や水分を敏感に感じ取る繊維)」を採用。MSFは、人体から放出される汗などの水蒸気や水分を吸湿することにより膨潤し、繊維が伸びることで生地編み目が開きます。通気性の測定試験では、「ドライコントロール肌着」を湿潤させることにより、湿潤前と比較し、通気性が18.5%向上する結果が得られています。さらに、温度が低くなって汗をかかなくなり、湿気が放湿されると編み目が閉じる、画期的な機能をもつ繊維です。

「ドライコントロール肌着」は、湿気や水分に反応して、自在に“繊維自身が動く”ことで、通気量をコントロールし、“肌着内気候”を快適に保ちます。

また、綿が50%混紡され、柔らかで優しい手ざわりも特長です。



信州大学において、MSFを採用した今回の「ドライコントロール肌着」と、比較用肌着を男子学生4人が実際に着用し、自転車の走行運動を実施。その後、下記7種類の形容語を用い、9段階で着用感を評価する官能試験を行いました。

- ①柔らかい—硬い ②蒸れない—蒸れる ③暑い—涼しい ④ドライタッチ感がある—ない ⑤さらっとする—べたつく
⑥(肌着が)乾いている—濡れている ⑦快—不快

その試験から、「ドライコントロール肌着」は、①蒸れ感が低い ②衣服内湿度を低く保つ ③乾きが早く、汗冷えが起こらないという評価が得られました。発汗によりMSFが反応し、湿気を吸湿・吸収して編み目が開くことで通気性が向上。これにより、涼しく感じられるとともに、乾きが早くなるといえます。

「ドライコントロール肌着」の商品概要

■信州大学繊維学部との産学協同開発商品「ドライコントロール肌着」

綿が50%混紡され、柔らかで優しい手ざわりに加え、ストレッチ生地で動きやすく、快適な着心地です。

素材	綿50%・ポリエステル39%・ナイロン11%
色柄	白無地
サイズ	M、L、LL
デザイン	Vネック半袖/スリーブレス、クルーネック半袖
税込価格	990円



Vネック半袖



Vネックスリーブレス



クルーネック半袖

■報道関係からのお問い合わせ

株式会社AOKI 本社 広報担当:小林幸子

〒224-8688 神奈川県横浜市都筑区葛が谷6-56 TEL:045-942-5388/ FAX: 045-942-1608

■お客様(読者・視聴者)からのお問い合わせ

株式会社AOKI お客様相談室 フリーコール:0120-13-7888 HP:www.aoki-style.com

(受付時間 10:00~18:00)